


地球の  
「いきいき」の  
ために

# タカラ・ハーモニストファンド

自然環境保全や生物多様性保全のための活動や研究に取り組む  
団体や個人を全国から公募し、広く支援し続けています。

## 公益信託「タカラ・ハーモニストファンド」

宝ホールディングスは、1985年の創立60周年を機に公益信託「タカラ・ハーモニストファンド」を設立し、以来毎年、日本の森林や水辺の自然環境を守る活動や、そこに生息する生物を保護するための研究などに対して助成を行っています。助成先の選考は、自然科学分野の専門性の高い有識者により構成される運営委員会により行われます。2016年度は、多数の応募の中から、「NPO法人 おおのの風」など全国で11件の自然環境保全に関する活動・研究が助成先として選ばれました。第1回からの助成先件数は延べ333件、助成金累計額は1億5973万1千円になりました。

 F:タカラ・ハーモニストファンド

### ● 2016年度タカラ・ハーモニストファンド助成先一覧

	助成先団体・個人	地域	テーマ
活動の部	めぐみ野自然の会	東京	ビオトープと雑木林の保全活動
	ポレポレ自然環境観察会	石川	能登半島・九十九湾周辺でのアカテガニの森づくり・環境保護活動
	真庭遺産研究会	岡山	オオサンショウウオの王国を守ろう!生物多様性ツーリズム事業
	NPO法人 おおのの風	広島	ふるさとの永慶寺川を元気に!~地域の子どものための未来のために
	NGO さんきら自然塾	愛媛	国際的な渡りと緑の回廊;佐田岬半島SOS生物保全プロジェクト2016
研究の部	佐鹿 万里子	北海道	外来種アライグマと在来種タヌキの競合関係解明に関する研究
	奥田 圭 福島大学環境放射能研究所	栃木	防鹿柵の効果はいかに? なぜ地上営巣性鳥類は防鹿柵を設置しても回復しないのか
	奥多摩ツキノワグマ研究グループ	東京	ツキノワグマの糞に含まれる漿果種子の二次散布機構の解明
	山中 裕樹 龍谷大学理工学部環境ソリューション工学科	滋賀	琵琶湖水系のウナギはどこに?環境DNA分析でその分布を探る
	森井 清仁	滋賀	絶滅が危惧される琵琶湖固有 スジシマドジョウ2種の繁殖生態と保全手法に関する研究
	和歌山県立田辺高等学校・中学校生物部	和歌山	和歌山県田辺市の変形菌類

## VOICE

### 「ふるさとの永慶寺川を元気に!~地域の子どものための未来のために」



広島県西部を流れる永慶寺川は、かつてホタルが舞う自然豊かな川でした。しかし近年の宅地開発によって河川環境は悪化しました。そこで私たちは、ホタルをはじめ多くの生き物が棲む川にするために、川の清掃美化活動を開始。また、地元の団体や大学の学生と協働で、子どもたちが自然体験を通して川の環境を学べる活動も始めました。5年前からは、地元の小学校の総合学習の一環として川の環境を観察し、児童が自ら見つけた課題をどう解決するのかを主体的に考える学習を行っています。

子どもたちにはこの学びをきっかけに「ホタルの舞う川を取り戻すために何ができるのか」を考え行動に移し、永慶寺川の自然環境を未来へ引き継いでいってほしいと考えています。

NPO法人 おおのの風